

2025年3月期 決算

ROUND1

# 現況と今後の展望（決算説明会資料）



ラウンドワンチャンドラー店  
アリゾナ州チャンドラー  
2025年2月8日オープン！

## 株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東京証券取引所 プライム

Code Number：4680

2025年5月9日

当社グループは、財務情報の比較可能性を高め経営の効率化を図ることを目的とし、2025年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、従来の日本基準に替え、国際財務報告基準(IFRS)の任意適用を行う予定です。

これに伴い、本書における会計基準の取り扱いについては、以下の通りといたします。

2025年3月期実績に係る記載：日本基準

2026年3月期計画に係る記載：国際財務報告基準(IFRS) (本書内では、以降「IFRS」と記載。)

なお、IFRSの任意適用に伴う開示スケジュールは、2025年3月31日開示の『国際財務報告基準(IFRS)の任意適用に関するお知らせ』をご参照ください。

# 連結決算の分析 2025年3月期実績【前年対比】(日本基準)



(単位:億円) ※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		単位	2024年3月期実績 (2023.4~2024.3)	2025年3月期実績 (2024.4~2025.3)	増減率 (%)
店舗	期末店舗数 ①	店舗数	153	160	+4.6
	期中店舗稼働月数 ①	月数	1,824	1,874	+2.7

損益	ボウリング	272.9	294.0	+7.7
	アミューズメント	947.5	1,061.4	+12.0
	カラオケ・飲食	159.5	186.0	+16.6
	スポッチャ	177.5	193.1	+8.8
	その他	34.1	35.7	+4.8
	総売上	1,591.8	1,770.5	+11.2
	売上原価	1,296.2	1,436.2	+10.8
	売上総利益	295.5	334.3	+13.1
	販売費及び一般管理費	53.5	64.2	+20.0
	営業利益	241.9	270.0	+11.6
	営業外損益	1.2	2.2	+83.2
	経常利益 ②	243.1	272.2	+12.0
	売上高経常利益率	15.3%	15.4%	-
	特別損益 ③	△12.0	△24.0	-
	税金等調整前当期純利益	231.1	248.2	+7.4
法人税等	74.4	87.8	+18.0	
当期純利益	156.6	160.3	+2.3	

## ①【増減】

期末店舗数：国内 出店1、米国 出店8 退店1 中国 退店1  
期中稼働月数：国内 +3ヶ月、米国 +47ヶ月

## ②【経常利益の差異要因】※

2024年3月期実績	経常利益	243.1億円
◆国内 経常損益		+8.8億円
■【内訳】 売上の増加		+44.9億円
■ 人件費の増加		△15.3億円
■ 設備修繕費の増加		△4.7億円
■ 販促宣伝費の増加		△4.3億円
■ アミューズ景品費の増加		△3.8億円
■ アミューズリース減価償却費の増加		△2.5億円
■ その他費用等の増加		△5.5億円
◆米国 経常損益		+24.2億円
■【内訳】 既存店利益の増加		+0.4億円
■ 稼働月数増加に伴う利益の増加		+21.3億円
■ 初期投資費用の増加		△4.7億円
■ 為替変動の影響等		+7.2億円
◆中国 他		△3.9億円
2025年3月期実績	経常利益	272.2億円

※ ロイヤリティを含めない経常利益で比較を行っております。  
米国のロイヤリティの額は36.5億円です。

## ③【特別損益の内訳】

2024年3月期実績 特別損益 △12.0億円  
減損損失 △17.3億円、固定資産除却損等 △3.6億円、  
関係会社株式売却益 1.5億円、受取補償金 7.2億円  
2025年3月期実績 特別損益 △24.0億円  
減損損失 △22.1億円(国内 △12.0億円、中国 △10.0億円)  
固定資産除却損等 △1.9億円

# 連結決算の分析 2025年3月期実績【計画対比】(日本基準)



(単位:億円) ※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		単位	2025年3月期 計画 (2024.4~2025.3)	2025年3月期 実績 (2024.4~2025.3)	増減率 (%)
店舗	期末店舗数 ①	店舗数	165	160	△3.0
	期中店舗稼働月数 ①	月数	1,894	1,874	△1.1

損益	ボウリング	286.1	294.0	+2.8
	アミューズメント	1,030.5	1,061.4	+3.0
	カラオケ・飲食	177.7	186.0	+4.7
	スポッチャ	184.4	193.1	+4.7
	その他	34.3	35.7	+4.1
	総売上	1,713.1	1,770.5	+3.3
	売上原価	1,393.2	1,436.2	+3.1
	売上総利益	319.9	334.3	+4.5
	販売費及び一般管理費	62.8	64.2	+2.3
	営業利益	257.0	270.0	+5.0
	営業外損益	△6.4	2.2	-
	経常利益 ②	250.6	272.2	+8.6
	売上高経常利益率	14.6%	15.4%	-
	特別損益 ③	△2.8	△24.0	-
税金等調整前当期純利益	247.8	248.2	+0.1	
法人税等	77.8	87.8	+12.9	
当期純利益	170.0	160.3	△5.7	

## ①【増減】

期末店舗数：国内 △3店舗、中国 △2店舗

期中稼働月数：国内 △14ヶ月、米国 △4ヶ月、中国 △2ヶ月

## ②【経常利益の差異要因】※1

2025年3月期計画	経常利益	250.6億円
◆国内経常損益		+20.4億円
【内訳】 売上の増加		+31.7億円
アミューズ消耗品費の減少		+3.6億円
アミューズリース減価償却費の減少		+3.5億円
人件費の増加		△8.3億円
設備修繕費の増加		△8.1億円
アミューズ景品費の増加		△5.7億円
その他費用等の減少		+3.7億円
◆米国経常損益		△1.7億円
【内訳】 売上の減少		△2.7億円
賃料の減少		+5.5億円
アミューズ景品費の減少		+2.2億円
人件費の増加		△6.5億円
その他費用等の増加 ※2		△0.2億円
◆中国 他		+2.9億円
2025年3月期実績	経常利益	272.2億円

※1 ロイヤリティを含めない経常利益で比較を行っております。  
米国のロイヤリティの額は36.5億円です。

※2 為替変動による利益増加分を含んでおります。

## ③【特別損益の内訳】

2025年3月期計画 特別損益 △2.8億円

固定資産除却損等 △2.8億円

2025年3月期実績 特別損益 △24.0億円

減損損失 △22.1億円(国内 △12.0億円、中国 △10.0億円)

固定資産除却損等 △1.9億円

# 国内・米国売上及び既存店前年対比(実績)



## 2025年3月期実績 国内売上及び既存店前年対比

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

	単位		第1四半期						第2四半期						上期		下期				通期	
			第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期							
			総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比						
ボウリング	億円	%	52.9	+10.3	57.7	+8.9	110.7	+9.6	49.6	+4.8	66.4	+4.9	116.1	+4.9	226.8	+7.1						
アミューズメント	億円	%	112.9	+0.1	138.9	+3.6	251.8	+2.0	118.0	+0.8	136.7	+4.0	254.7	+2.5	506.6	+2.2						
カラオケ	億円	%	19.4	+10.1	21.9	+7.5	41.4	+8.7	18.8	+6.8	22.3	+5.3	41.1	+5.9	82.6	+7.3						
スポッチャ	億円	%	37.9	+8.9	47.3	+19.0	85.3	+14.3	33.2	+2.2	54.4	+5.2	87.7	+4.1	173.0	+8.9						
その他	億円	%	8.5	+8.2	9.1	+10.0	17.7	+9.1	8.3	+7.7	9.6	+2.4	17.9	+4.8	35.7	+6.9						
総売上	億円	%	231.8	+4.8	275.2	+7.6	507.1	+6.3	228.1	+2.5	289.6	+4.5	517.7	+3.6	1,024.8	+4.9						
土日祝回数前年対比	日数		±0		±0		±0		△2		±0		△2		△2							
各期末 国内全店舗数/既存店舗数			100/98		100/99		100/99		100/99		100/99		100/99		100/99							

## 2025年3月期実績 米国売上及び既存店前年対比

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示  
※実績1ドル=152.62円で算出しております。

	単位		第1四半期						第2四半期						上期		下期				通期	
			第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期							
			総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比	総売上	前年比						
ボウリング	億円	%	15.5	△0.4	15.7	△2.8	31.3	△1.6	15.9	+2.7	18.9	+1.1	34.9	+1.8	66.3	+0.1						
アミューズメント	億円	%	124.2	+1.3	133.1	△1.5	257.3	△0.1	128.9	+6.2	158.2	+0.8	287.1	+3.2	544.5	+1.5						
飲食・パーティー等	億円	%	23.4	+13.2	23.3	+8.5	46.8	+10.8	26.5	+10.0	29.4	+1.4	56.0	+5.3	102.8	+7.8						
スポッチャ	億円	%	4.5	△0.3	4.3	+3.8	8.9	+1.8	3.6	+3.0	4.7	△8.3	8.4	△4.0	17.3	△1.3						
総売上	億円	%	167.8	+2.6	176.5	△0.2	344.4	+1.2	175.1	+6.3	211.4	+0.7	386.5	+3.2	731.0	+2.2						
各期末 米国全店舗数/既存店舗数			51/47		52/47		52/47		54/47		57/48		57/48		57/48							

# 2026年3月期 連結計画 出退店数と損益 (IFRS)



米国予算は、現時点での関税影響を織り込んでおりますが、計画から大きく乖離が発生した場合は修正計画を開示いたします。

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		単位	2026年3月期計画 (IFRS)				
			連結	国内 ※1	米国 ※4	中国 ※4	デリシャス ※4
店舗	新規出店数	店舗数	16	2	10	1	3
	退店数	店舗数	1	1	-	-	-
	総店舗数(期末)	店舗数	175	101	67	4	3
	総店舗稼働月数	月数	1,951	1,191	705	47	8
損益	ボウリング	億円	304.4	233.0	70.8	0.5	-
	アミューズメント	億円	1,149.7	526.6	610.9	12.2	-
	カラオケ・飲食	億円	214.1	85.9	127.7	0.4	-
	スポッチャ	億円	204.5	181.0	21.9	1.4	-
	その他	億円	58.6	37.0	-	0.0	21.5
	総売上	億円	1,931.6	1,063.7	831.5	14.7	21.5
	営業利益 ※2	億円	312.2	181.8	146.8	0.1	△16.5
	売上高営業利益率	%	16.2%	17.1%	17.7%	1.1%	-
	金融損益	億円	△39.9	△6.7	△30.2	△0.1	△2.8
	税金等調整前当期純利益	億円	272.3	175.1	116.5	0.0	△19.3
法人税等 ※3	億円	87.8	68.7	19.0	-	-	
当期純利益	億円	184.5	106.3	97.5	0.0	△19.3	

(注) 2026年3月期計画より国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

※1 HDを含んだ数字となります。

※2 国内と米国は、ロイヤリティを含めない営業利益を記載しております。

ロイヤリティを含めた場合、国内営業利益 223.4億円、米営業利益 105.2億円となります。

※3 法人税の計算は、ロイヤリティを含めた利益を基に算出しております。

※4【換算レート】1ドル=140.00円、1元=20.00円

# 2026年3月期 計画 策定根拠①(IFRS)



※0.1億円未満切捨  
※2026年計画よりIFRSになっております。

【連結】 通期 営業利益 前年比 +42.2億円 【前期実績(日本基準) 270.0億円 ⇒ 当期計画(IFRS) 312.2億円】

【米国】 売上高 831.5億円 営業利益 (IFRS) 146.8億円 (前年実績 売上高 731.0億円 営業利益(日本基準) 136.7億円)

2025年3月期実績 営業利益	136.7億円
既存店 売上増加(既存店前年対比:+5.4%)	+35.6億円
稼働月数増加に伴う利益の増加 ※1	+17.2億円
オープン店舗にかかる経費の増加	△8.8億円
関税の影響によるアミューズ景品費の増加 ※2	△35.2億円
人件費の増加	△11.3億円
その他費用等の増加	△4.4億円
為替影響による利益の減少 ※3	△12.6億円
2026年3月期計画 営業利益(日本基準)	117.2億円
2026年3月期 IFRS適用による調整 ※4	+29.6億円
2026年3月期計画 営業利益(IFRS)	146.8億円

(前提条件) ・既存店売上高は、前年対比5.4%増にて計画を策定しております。  
・7月以降は景品費全体に対して約40%の関税影響を受けると想定し、計画を策定しております。(6月末まではおもに在庫を使用)

※第2四半期より関税等の影響を鑑みて4~5%程度の値上げを検討しておりますが、今後の景況感を考慮しながら、値上げ実施について意思決定を行います。  
なお、第2四半期の値上げに関しては計画に織り込んでおりません。

- (注) ※1 米国総稼働月数 前期実績 627ヶ月、当期計画 705ヶ月 (78ヶ月増加)  
 ※2 7月以降は景品費全体に対して約40%の関税影響を受けると想定した場合の増加額です。  
 なお、約80%の関税を受けると想定した場合は、さらに35.2億円の景品費が増加いたします。  
 また、景品は8割が中国、残り2割はおもにベトナムにて製造されております。  
 ※3 (為替レート 前年実績 152.62円、当期計画 140.00円)  
 ※4 IFRS16号の適用による売上原価の減少、金融費用の増加によるものです。

なお、IFRS16号適用による影響の詳細につきましては、P.32をご参照ください。

# 2026年3月期 計画 策定根拠②(IFRS)



※0.1億円未満切捨  
 ※2026年計画よりIFRSになっております。

**【国内】 売上高 1,063.7億円 営業利益 (IFRS) 181.8億円 (前年実績 売上高 1,024.8億円 営業利益(日本基準) 148.6億円)**

<b>2025年3月期実績 営業利益(日本基準)</b>	<b>148.6億円</b>
売上の増加(既存店前年対比:+4.2%)	+38.9億円
アミューズリース減価償却費の減少 ※1	+8.8億円
人件費の増加	△9.7億円
アミューズ景品費の増加	△0.0億円
その他費用等の増加	△8.0億円
<b>2026年3月期計画 営業利益(日本基準)</b>	<b>178.6億円</b>
2026年3月期 IFRS適用による調整 ※2	+3.2億円
<b>2026年3月期計画 営業利益(IFRS)</b>	<b>181.8億円</b>

**【国内】 (前提条件)**  
 ・2025年3月より全体で約4%の値上げを行っており、その効果を2025年4月から2026年2月までの売上計画に織り込んでおります。  
 ※第2四半期よりアミューズメントを除き3%程度の値上げを検討しておりますが今後の業績に応じて意思決定を行います。  
 なお、第2四半期の値上げに関しては計画に織り込んでおりません。

**(注) ※1** ギガクレーンゲームスタジアム化に伴うクレーンゲーム機の増台から3年が経過したことによるものです。  
**※2** ファイナンスリースの一部償却処理の変更による影響、減損損失および除却損の表示組替等 によるものです。  
 なお、表示組替につきましては、P.7をご参照ください。

**【中国】 (前提条件)**  
 ・直近の業績を基に作成しております。  
 (為替レート 前年実績 21.11円、当期計画 20.00円)

**【中国】 売上高 14.7億円 営業利益 (IFRS) 0.1億円 (前年実績 売上高 14.6億円 営業利益(日本基準) △6.3億円)**

**【デリシャス】 売上高 21.5億円 営業利益 (IFRS) △16.5億円 (前年実績 売上高 0.0億円 営業利益(日本基準) △9.1億円)**

新店(当期オープン予定3ユニット)稼働月数8ヶ月増加に伴う利益増加	+3.0億円
オープンまでの工事期間にかかる賃料を含む初期コスト	△10.0億円
職人人件費及び本社費等	△9.5億円

・出店計画は詳細はP.19をご参照ください。  
 (為替レート 前年実績 152.62円、当期計画 140.00円)

・IFRSの会計基準では、工事期間から先行して会計上の費用が発生いたします。その費用は業績計画上では初期コストに含んでおります。  
 なお、IFRS16号適用による影響の詳細につきましては、P.32をご参照ください。



# 2026年3月期 計画 日本基準とIFRSの差異について

▶P.4記載の2026年3月期計画値はIFRS適用後の数値のため、日本基準に基づき計画を作成した場合との差額および主な差異要因を記載しております。

IFRS適用により、段階利益が変更となることによる表示の組替や、会計処理の変更が発生します。

(単位:億円) ※1億円未満切捨

日本基準		IFRS		差異	主な差異要因
総売上	1,931	総売上	1,931	—	
売上原価	1,591	売上原価	1,549	△42	[IFRS調整]IFRS16号適用による影響 ※
売上総利益	340	売上総利益	382	+42	
販売費及び一般管理費	63	販売費及び一般管理費	65	+2	
—	—	その他の営業損益	△4	△4	[表示組替]除却損・減損の計上
営業利益	276	営業利益	312	+36	
営業外損益	△4	—	—	+4	[表示組替]借入・リース支払利息の減少
経常利益	272	—	—	△272	
特別損益	△4	—	—	+4	[表示組替]除却損・減損の減少
—	—	金融損益	△39	△39	[表示組替]借入・リース支払利息の計上 [IFRS調整]IFRS16号適用による影響 ※ 等
税金等調整前当期純利益	268	税金等調整前当期純利益	272	+4	
法人税等	92	法人税等	87	△5	
当期純利益	175	当期純利益	184	+9	

※ IFRS16号適用による影響とは、オペレーティングリースのオンバランス処理により、これまで日本基準にて発生していた賃借料がIFRSでは減価償却費とリース支払利息としてPL計上され、そのうちリース支払利息は金融損益へ計上されることによるものです。

詳細については参考資料 (P.32) をご参照ください。

# 国内・米国売上及び既存店前年(2026年3月期)対比(計画)



## 2026年3月期計画 国内売上及び既存店前年(2025年3月期)対比

※店舗数はP.4をご参照ください。  
※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

	単位		第1四半期						上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期			
			売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比		
ボウリング	億円	%	53.9	+2.9	59.5	+4.5	113.5	+3.7	51.2	+4.7	68.2	+3.5	119.4	+4.0	233.0	+3.9		
アミューズメント	億円	%	117.6	+4.5	144.2	+4.5	261.9	+4.5	122.8	+4.9	141.7	+3.4	264.6	+4.1	526.6	+4.3		
カラオケ	億円	%	20.3	+4.3	22.9	+4.5	43.2	+4.4	19.6	+4.6	23.1	+3.4	42.7	+4.0	85.9	+4.2		
スポッチャ	億円	%	40.3	+6.4	48.9	+3.5	89.3	+4.8	35.1	+5.8	56.6	+3.3	91.7	+4.3	181.0	+4.5		
その他	億円	%	8.7	+3.0	9.5	+5.5	18.3	+4.3	8.7	+6.5	10.0	+4.3	18.7	+5.3	37.0	+4.8		
総売上	億円	%	241.0	+4.4	285.2	+4.4	526.2	+4.4	237.6	+5.0	299.8	+3.5	537.4	+4.1	1,063.7	+4.2		
土日祝日数前年対比	日数		±0		±0		±0		+1		±0		+1		+1			
各期末 国内全店舗数/既存店舗数			99/99		99/99		99/99		100/99		101/99		101/99		101/99			

## 2026年3月期計画 米国売上及び既存店前年(2025年3月期)対比

※店舗数はP.4をご参照ください。  
※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示  
※計画1ドル=140.00円で算出しております。

	単位		第1四半期						上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期			
			売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比		
ボウリング	億円	%	16.0	+1.0	16.7	+5.2	32.8	+3.1	16.6	+4.6	21.3	+4.4	38.0	+4.5	70.8	+3.9		
アミューズメント	億円	%	136.5	+1.5	143.3	+4.2	279.8	+2.9	143.9	+10.3	187.1	+7.2	331.1	+8.6	610.9	+5.9		
飲食・パーティー等	億円	%	24.5	+2.0	25.7	+9.7	50.2	+5.9	26.2	△2.6	51.1	+3.0	77.4	+0.3	127.7	+2.9		
スポッチャ	億円	%	4.2	+4.0	4.3	+5.3	8.5	+4.6	5.4	+24.3	7.9	+6.7	13.4	+14.4	21.9	+9.4		
総売上	億円	%	181.3	+1.6	190.1	+5.0	371.4	+3.4	192.3	+8.1	267.6	+6.4	460.0	+7.2	831.5	+5.4		
各期末 米国全店舗数/既存店舗数			57/50		57/52		57/52		61/54		67/57		67/57		67/57			

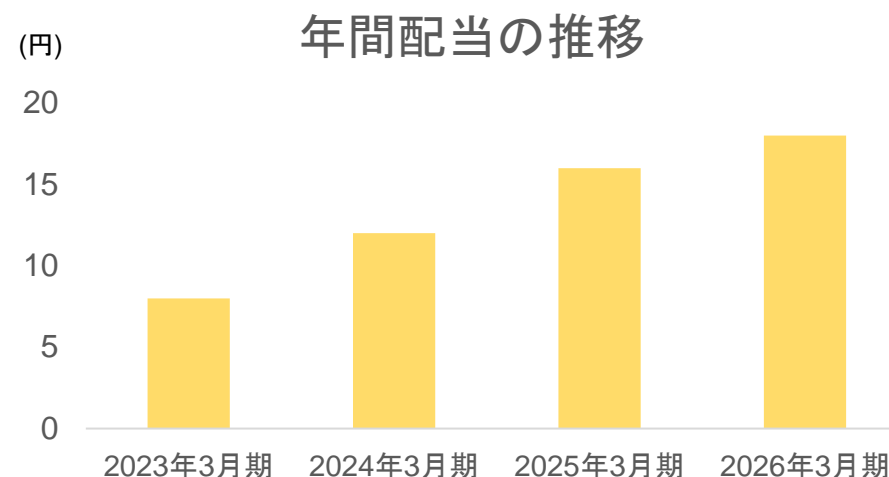
# 配当について



2023年3月期から2026年3月期の配当実績および配当予想は以下のとおりです。

(単位:円)

3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
2023年 ※	-	4.00	-	4.00	8.00
2024年	2.50	2.50	3.50	3.50	12.00
2025年	4.00	4.00	4.00	4.00	16.00
2026年(予想)	4.50	4.50	4.50	4.50	18.00



※ 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。株式分割を考慮する前の2023年3月期の第2四半期配当金は、12.00円です。

当社は、2024年3月期より、四半期ごとの状況に応じた機動的な利益還元ができるよう四半期配当制度を導入しております。企業価値の長期的な向上を図りつつ安定的な配当を継続して実施することを基本に、配当性向の目安を概ね25%前後として配当を行う方針としております。かかる方針に基づき、当期純利益の継続的な成長ならびに経営環境等を総合的に勘案しながら、上表のとおり増配を行ってまいりました。

なお、2026年3月期においても、各四半期配当金は1株あたり0.5円増の4.5円、年間配当金は18.0円を予定しております。

# 2026年3月期 連結計画 キャピタルアロケーション



当社は、収益の基盤となる新規店舗への成長投資、既存店舗への更新設備投資を行うことによる企業価値向上に努めており、以下のとおりの資金配分を計画しております。

(単位:億円)

1,000

IN

OUT

900

800

700

600

500

400

300

200

100

営業CF  
(652億円)

手元資金  
+  
借入金

既存店 設備投資  
(96億円)

新店 設備投資  
(339億円)

有利子負債返済  
利息支払  
(466億円)

株主還元(45億円)

## ● 営業CF 内訳

- ・営業利益 312億円
- ・減価償却費 127億円
- ・リース減価償却費 94億円
- ・使用権資産減価償却費(IFRS適用による) 202億円
- ・非支出費用 4億円
- ・法人税等 △87億円

## ● 既存店設備投資 内訳

- ・国内 25億円
- ・米国 71億円 (おもにアミューズメントゲーム機)

## ● 新店設備投資 内訳

- ・国内 21億円
- ・米国 279億円
- ・デリシャス 37億円
- ・中国 1億円

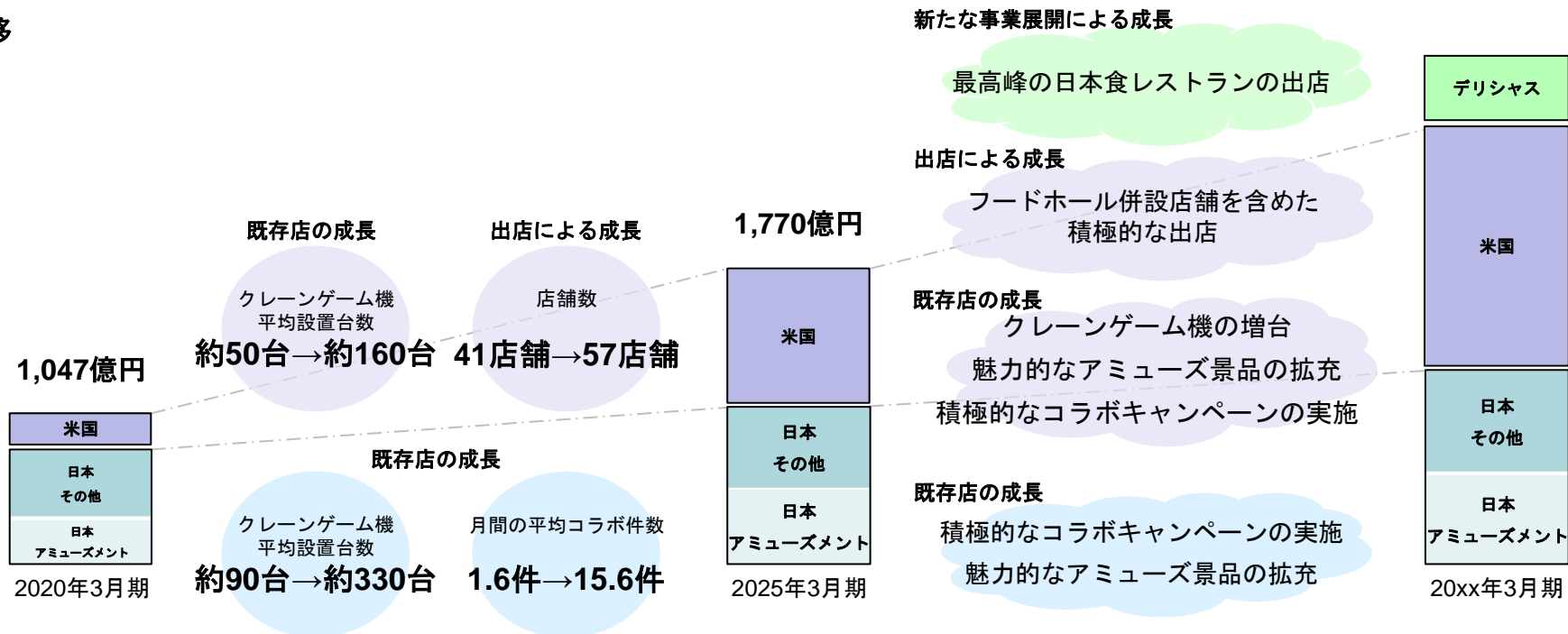
## ● 有利子負債返済、利息支払 内訳

- ・借入金 124億円
- ・ファイナンスリース 95億円  
(おもに日本のアミューズメントゲーム機)
- ・不動産賃借料(IFRS適用によるリース債務) 246億円

## ● 株主還元 内訳

- ・1株あたり4.5円の四半期配当を行います。  
(2025年3月期末配当は4.0円になります。)
- ・期初計画の当期利益のおおむね25%前後の配当性向を目安としております。

## 売上高推移



【国内】2022年3月期よりギガクレーンゲームスタジアム店舗(※)へ改装し、現在76店舗の改装が完了しております。また、2020年3月期から2025年3月期にかけて、月間のコラボキャンペーンの件数は約10倍へと増加しております。今後も継続的にコラボキャンペーンの件数を増やし売上の増加を目指します。  
(※ ギガクレーンゲームスタジアム店舗とは、クレーンゲーム機を約300台以上設置している店舗の名称です。)

【米国】2020年3月期から2025年3月期にかけて、新規店舗の出店やクレーンゲーム機の増台により売上を伸ばしてまいりました。今後はフードホール併設店舗の新規出店に加え、積極的なコラボキャンペーンの実施やクレーンゲーム機の増台を行いさらなる成長を目指します。フードホールの詳細につきましては、P.16をご参照ください。

【デリシャス】国内で最高評価を得た日本食レストランをそのままのクオリティーで海外へ展開する事業を新たに開始いたします。まずは2026年3月期に米国へ出店を予定しております。デリシャスの詳細につきましては、P.17をご参照ください。

# 資産等の推移(連結)



※1億円未満切捨、%は四捨五入表示

3月期	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年 計画※1
総資産	1,068億円	1,173億円	1,358億円	1,505億円	1,576億円	1,706億円	1,854億円	2,136億円	
純資産	567億円	626億円	651億円	408億円	546億円	611億円	705億円	723億円	
自己資本比率	53.0%	53.3%	47.8%	27.0%	34.4%	35.7%	37.9%	33.7%	
現預金残高	234億円	225億円	345億円	448億円	463億円	291億円	364億円	511億円	
有利子負債残高	137億円	135億円	274億円	672億円	495億円	235億円	222億円	406億円	
実質有利子負債残高※2	△97億円	△90億円	△71億円	223億円	31億円	△55億円	△142億円	△104億円	
リース債務残高(賃貸借債務除く)	155億円	190億円	182億円	149億円	169億円	199億円	182億円	163億円	
リース債務含実質有利子負債残高※3	58億円	100億円	111億円	373億円	201億円	144億円	40億円	59億円	
当該年度新規リース契約額	80億円	130億円	94億円	59億円	125億円	124億円	102億円	86億円	96億円

※1 IFRSでの数値を算定中です。確定次第、開示いたします。

※2 『実質有利子負債残高』 = 『有利子負債残高』 - 『現預金残高』

※3 『リース債務含実質有利子負債残高』 = 『実質有利子負債残高』 + 『リース債務残高(賃貸借債務除く)』

※ 上記のリースとはIFRS16及びASC Topic842の賃料に関するリース債務を除く、  
 アミューズメント機器やカラオケ設備等のファイナンス・リースです。

# 損益等の推移



## 損益等の推移（連結）

(単位:億円) ※1億円未満切捨、%は四捨五入表示  
 ※2026年計画よりIFRSにて算出致します。なお、黒塗り箇所は確定次第、開示いたします。

3月期	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年計画
期末店舗数	122	129	137	144	145	149	152	154	160	175
総売上	877	959	1,013	1,047	609	964	1,420	1,591	1,770	1,931
営業利益	66	105	114	88	△192	△17	169	241	270	312
営業利益率	7.6%	11.0%	11.3%	8.5%	—	—	11.9%	15.2%	15.3%	16.2%
当期純利益	27	84	71	47	△179	39	97	156	160	184
調整後EBITDA ①	186	223	239	231	△38	142	363	449	501	※ 741
ROI(投下資本利益率) ②	6.8%	12.0%	12.4%	8.5%	—	4.7%	18.6%	24.2%	24.5%	
ROE(自己資本利益率) ③	5.4%	15.6%	12.0%	7.5%	—	8.3%	16.9%	23.9%	22.5%	
ROA(総資産利益率) ④	2.7%	8.1%	6.4%	3.8%	—	2.6%	5.9%	8.8%	8.0%	
DOE(株主資本配当率) ⑤	3.8%	3.6%	3.2%	3.0%	3.4%	4.2%	4.3%	5.5%	5.2%	

①調整後EBITDA 計算式：営業利益 + 減価償却費(使用権資産の減価償却費を除く)

※ 2026年計画は、IFRSの数値にて作成しております。調整後EBITDA 計算式：営業利益 + 減価償却費 + 非支出費用

②ROI 計算式：経常利益 ÷ [(期首純資産 + 期末純資産) ÷ 2] + [(期首リース債務含有利子負債 + 期末リース債務含有利子負債) ÷ 2]

③ROE 計算式：当期純利益 ÷ [(期首自己資本 + 期末自己資本) ÷ 2]

④ROA 計算式：当期純利益 ÷ [(期首総資産 + 期末総資産) ÷ 2]

⑤DOE 計算式：配当総額 ÷ [(期首株主資本 + 期末株主資本) ÷ 2]

## 損益の推移（国内）

3月期	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年計画
期末店舗数	107	108	105	103	100	99	99	100	100	101
総売上	805	843	849	842	533	637	898	979	1,024	1,063
営業利益	61	94	97	87	△113	△52	65	137	148	181
営業利益率	7.7%	11.2	11.5%	10.4%	-	-	7.3%	14.0%	14.5%	17.1%
当期純利益	27	74	63	53	△98	13	27	85	72	147

## 損益の推移（米国）

3月期	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年計画
期末店舗数	15	21	32	41	44	46	49	50	57	67
総売上	72	115	163	205	76	321	513	595	731	831
営業利益	5	10	16	1	△75	45	115	111	136	146
営業利益率	6.8%	9.1%	10.0%	-	-	14.3%	22.5%	18.7%	18.6%	17.7%
当期純利益	△0	9	8	△4	△74	30	88	88	109	97

# 既存店売上前年比の推移

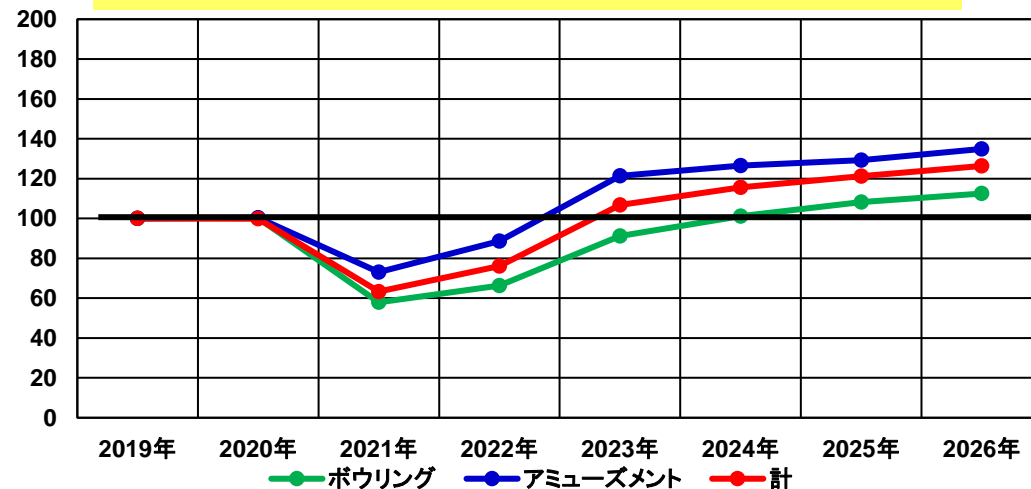


(単位：%)

## 国内

3月期	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年 計画
ボウリング	△1.6	+0.2	△42.2	+14.5	+37.5	+10.9	+7.1	+3.9
アミューズメント	+3.1	+0.4	△27.2	+21.2	+37.1	+4.2	+2.2	+4.3
カラオケ	△0.7	△1.3	△52.0	+6.1	+82.7	+17.1	+7.3	+4.2
スポッチャ	△0.4	△3.8	△49.6	+41.3	+44.0	+14.2	+8.9	+4.5
その他	+1.9	+10.6	△22.5	+0.3	+29.5	+9.4	+6.9	+4.8
総売上	+0.9	△0.1	△36.6	+20.2	+40.2	+8.3	+4.9	+4.2
既存店舗数	104	103	100	98	98	98	99	99

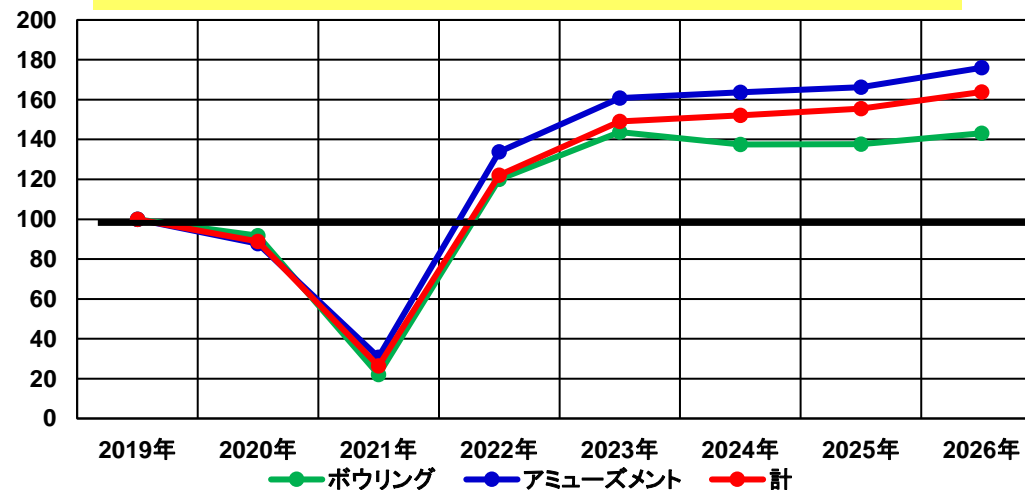
既存店国内売上前年比の推移 (2019年3月期実績を100とした場合)



## 米国

3月期	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年 計画
ボウリング	△8.2	△8.3	△76.0	+445.6	+19.7	△4.3	+0.1	+3.9
アミューズメント	△3.1	△12.3	△64.9	+334.7	+20.2	+1.8	+1.5	+5.9
飲食・その他	+13.7	△9.1	△85.9	+458.4	+41.7	+8.2	+7.8	+2.9
スポッチャ	-	-	-	-	+7.7	+1.7	△1.3	+9.4
総売上	△0.8	△11.1	△70.4	+363.8	+22.2	+2.0	+2.2	+5.4
既存店舗数	20	29	38	39	45	47	48	57

既存店米国売上前年比の推移 (2019年3月期実績を100とした場合)





# 既存店舗売上対策



## 国内既存店舗売上対策

### ◆ROUND1 LIVEを使ったりリモートイベントの開催◆

- ・『スペチャレ』『ラウチャレ』…人気プロボウラーが参加するボウリング大会をオンラインで開催。
- ・『リモ練』…毎週月曜～金曜にプロボウラーがテーマに沿ったレッスンを配信。
- ・『ファンイベント』…アイドルやインフルエンサーが主催するボウリングやカラオケのオンラインイベントを開催。

### ◆お子様・小中学生向けキャンペーンの開催◆

- ・『小中学生無料キャンペーン』…ボウリング、カラオケ、アミューズメント(メダル)にて中学生以下を対象に実施中。
- ・『KIDSリモ練』…小中学生を対象として無料でボウリングのリモートレッスンを実施。

### ◆コラボキャンペーンの開催◆

- ・ボウリング・カラオケ・スポッチャにて、コラボドリンクのご注文やコラボパックのご利用で、オリジナルグッズをプレゼントする期間限定コラボキャンペーンを、様々なアーティストやアニメ等と実施中。カラオケでは3面プロジェクターを使用したコラボルームを順次展開中。

### ◆ミニクレーンゲーム機の増台◆

- ・2024年6月から2025年3月末までにミニクレーンゲーム機を約6,000台導入済み。

### ◆アミューズメント新機種 導入◆

- ・『アイドルマスター TOURS』カードゲーム機(バンダイナムコエクスペリエンス) 2025年3月26日より稼働。

### ◆カラオケ新機種導入◆

- ・DAM最新機種『LIVE DAM WAO!』(第一興商)を4月22日より、カラオケ設置店舗全店へ順次導入中。

### ◆価格改定の検討◆

- ・第2四半期より、3%程度の値上げを検討中。(アミューズメント除く)

## 米国既存店舗売上対策

### ◆ミニクレーンゲーム機の増台◆

- ・2024年7月から2025年3月末までにミニクレーンゲーム機を約2,000台導入済み。なお、2025年8月末までに追加で2,000台の増台を順次実施中。

### ◆コラボキャンペーンの開催◆

- ・夏ごろより積極的にコラボキャンペーンを開催予定。

### ◆価格改定の検討◆

- ・第2四半期より、4～5%程度の値上げを検討中。



『アイドルマスター TOURS』  
©窪岡俊之 THE IDOLM@STER™& ©Bandai Namco Entertainment Inc. ©Bandai Namco Experience Inc.



『LIVEDAM WAO!』  
© DAIICHIKOSHO CO.,LTD. All Rights Reserved.

# ジャパニーズフードホール店舗の展開



日本で親しまれているラーメンやうどん、たこやきなど様々な「食」のジャンルにおいて、レストランガイド掲載店舗だけが集結した“ジャパニーズフードホール”併設店舗を、2025年度より米国にて出店いたします。

各エリアごとにセントラルキッチンを設置することで、国内最高評価を獲得する銘店の味をそのままのクオリティで提供することが可能です。また、従来の店舗モデルにフードホールを併設することにより、集客力の増大ならびに米国における出店形態の多様化が可能となり、出店の加速を目指します。

## ◆出店計画について◆

アメリカの4エリア(カリフォルニア、テキサス、フロリダ、ニューヨーク・ニュージャージー)を対象とし、まずは2025年度冬に出店予定です。これにより、米国においてはフードホールを併設しない店舗も合わせて年間10~20店舗の出店を目標とします。

従来の収益モデル

(売上)	
ボウリング 他	2.0億円
アミューズメント	10.1億円
飲食	1.3億円
総売上	13.4億円

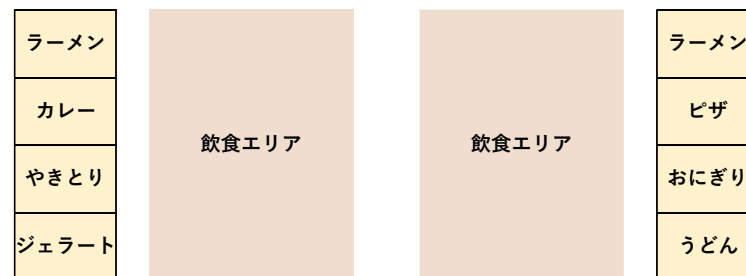
フードホール併設後収益モデル

(売上)	
ボウリング 他	2.0億円
アミューズメント	10.1億円
フードホール	16.0億円
総売上	28.1億円

営業利益3億円

営業利益6億円を  
目指します。

▼フードホールエリアイメージ



かき氷	からあげ	串揚げ	たこやき	とんかつ	お好み焼き
-----	------	-----	------	------	-------

# Round One Delicious プロジェクト①

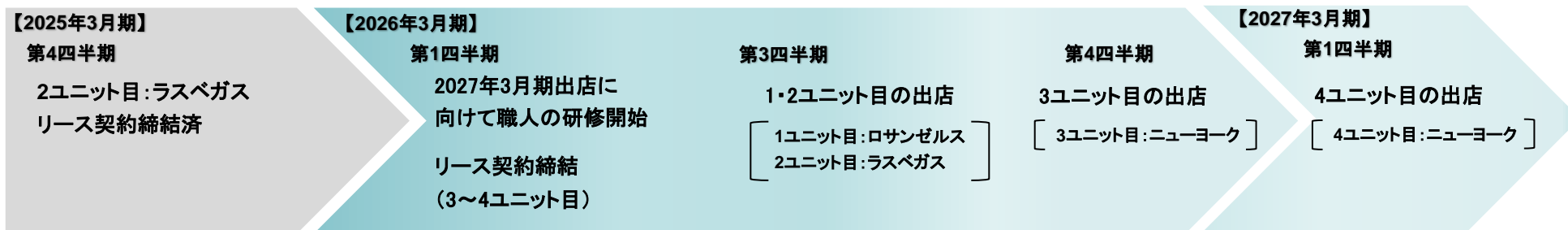


当プロジェクトが目指すのは、国内で最高評価を得た日本食そのままのクオリティを海外へ、真の日本食の美味しさを世界の方に味わっていただくことです。  
 ”ここにすれば、さまざまなジャンルの「本物の日本食」を味わうことができる” そんな楽しさをお客様にご提供するために、  
 鮎、日本料理、中華、創作(イノベティブ)、焼鳥、天ぷらのいずれかの組み合わせで1つのユニットを形成し、  
 2025年度秋より北米に出店を開始いたします。

## ◆出店計画について◆

米国を中心に向こう5年間で10都市に150店舗(30ユニット)を出店目標といたします。

全世界への進出の足がかりとして、まずはアメリカ主要都市(ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ、ホノルル、ラスベガス、シカゴ、ダラス、ワシントンDC)への出店を目指します。将来的には、ヨーロッパをはじめ全世界へとフィールドを拡大していく予定です。

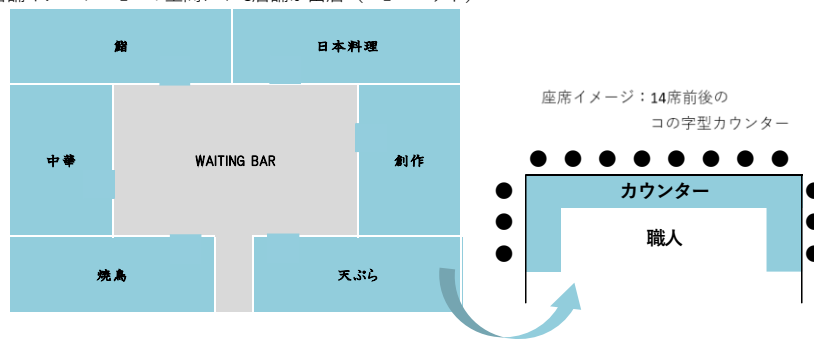


## ◆事業計画について(1店舗あたり)◆

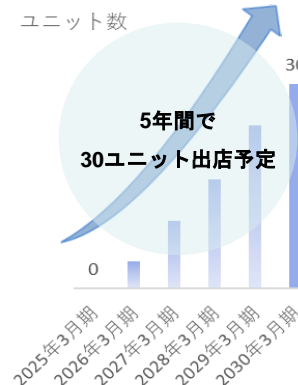
- ・投資額:70万ドル前後
- ・座席数:14席前後
- ・360日営業
- ・客単価:平均単価700ドル(400~1,000ドル)
- ・年間集客目標:5,040人
- ・年間売上:350万ドル
- ・人員数(ストアマネージャー・職人・アルバイト):10名

※なお、出店に向けて職人の研修費用をはじめ、その他準備費用が出店の前年に発生致します。

店舗イメージ:1つの空間に4~8店舗が出店(=1ユニット)



座席イメージ:14席前後のコの字型カウンター



# Round One Delicious プロジェクト②



## ◆協力加盟店について◆

2025年5月1日時点で、加盟店17店舗との契約を締結しております。



**鮭 | 鮭 あらい**  
東京 銀座  
「食ベログアワード 2025」 Gold受賞  
レストランガイド2020 1つ星獲得



**鮭 | 照寿司**  
福岡 北九州  
「食ベログアワード 2025」 Bronze受賞  
THE BEST CHEF AWARD 2024 GALA DUBAI



**鮭 | 菊鮭**  
福岡 春日  
「食ベログアワード 2025」 Silver受賞  
レストランガイド2019 1つ星獲得



**鮭 | 鮭駒**  
秋田 由利本荘  
「食ベログアワード 2025」 Silver受賞



**イノベーター | 蒼**  
東京 西麻布  
「食ベログアワード 2025」 Gold受賞



**イノベーター | CHIUnE**  
東京 紀尾井  
「食ベログアワード 2025」 Silver受賞  
「食ベログアワード 2023」 Gold受賞



**日本料理 | 銀座 しのはら**  
東京 銀座  
「食ベログアワード 2025」 Gold受賞  
レストランガイド2025 2つ星獲得



**日本料理 | 片折**  
石川 金沢  
「食ベログアワード 2025」 Gold受賞  
レストランガイド2021 2つ星獲得



**日本料理 | 鈴田式**  
東京 西麻布  
「食ベログアワード 2025」 Bronze受賞



**天ぶら | 成生**  
静岡 葵  
「食ベログアワード 2025」 Gold受賞



**天ぶら | たきや**  
東京 麻布十番  
「食ベログアワード 2025」 Silver受賞  
「食ベログアワード 2024」 Gold受賞



**天ぶら | ぬま田**  
大阪 北新地  
「食ベログアワード 2025」 Silver受賞  
レストランガイド2025 2つ星獲得



**中華 | 銀座 上瀧**  
東京 銀座  
「食ベログアワード 2025」 Bronze受賞  
レストランガイド2014 1つ星獲得



**焼鳥 | 薪鳥新神戸**  
東京 赤坂  
「食ベログアワード 2025」 Silver受賞  
「食ベログアワード 2023」 Gold受賞



**焼鳥 | 鳥えん**  
ニューヨーク  
レストランガイド2024 1つ星獲得



**焼鳥 | 吾一**  
大阪 肥後橋  
「食ベログアワード 2025」 Bronze受賞  
レストランガイド2018 掲載



**BAR | BAR CENTIFOLIA**  
東京 麻布十番  
サントリー ザ・カクテルアワード カクテル アワード  
2014受賞

# 出店計画と今後の方針



## 2025年4月以降のオープン予定店舗

店舗名 / 出店予定地域	営業面積	SP	AM	FH	オープン時期
米国					
ウィローブルック店 / テキサス州	10,242㎡	●			2025年度3Q予定
コロラド店 / コロラド州	1,997㎡		●		2025年度3Q予定
メンローパーク店 / ニュージャージー州	5,391㎡				2025年度3Q予定
ノースカウンティ店 / カリフォルニア州	8,857㎡	●		●	2025年度3Q予定
パシフィックビュー店 / カリフォルニア州	4,983㎡			●	2025年度4Q予定
アンテロープ店 / カリフォルニア州	7,092㎡			●	2025年度4Q予定
トウェルブオーク店 / ミシガン州	5,420㎡				2026年度予定
ヘイウッド店 / サウス・カロライナ州	7,900㎡	●			2026年度予定
フロリダ店 / フロリダ州	7,159㎡			●	2026年度予定
スカイビュー店 / ニューヨーク州	7,451㎡				2026年度予定
中国					
深圳福田N城市広場店	1,152㎡		●		2025年4月

店舗名 / 出店予定地域	営業面積	オープン時期
デリシャス		
1ユニット目 / カリフォルニア州	1,367㎡	2025年度3Q予定
2ユニット目 / ネバダ州	1,064㎡	2025年度3Q予定
3ユニット目 / ニューヨーク州	1,445㎡	2025年度4Q予定
4ユニット目 / ニューヨーク州	1,340㎡	2026年度1Q予定

## 今後の出店方針について

- 【国内】 立地に合わせた様々な形態（小型店舗からスタジアム店舗）にて継続的に出店してまいります。
- 【米国】 従来の形態の店舗に加えて、アミューズメントを中心とした小型店およびフードホール併設店舗の出店を進めてまいります。詳細につきましては、P.16をご参照ください。
- 【中国】 来場の見込める既存のショッピングモールへアミューズメントを中心とした小型店を出店し、その後の出店方針を検討してまいります。
- 【デリシャス】 詳細につきましては、P.17をご参照ください。

※ オープン予定店舗の店舗名は、仮称で記載しております。  
 ※ “AM” 欄に“●”のある店舗は、アミューズメントを中心とした小型店舗の出店を予定しております。  
 ※ “SP” 欄に“●”のある店舗は、スポッチャタイプにて出店を予定しております。  
 ※ “FH” 欄に“●”のある店舗は、フードホール併設にて出店を予定しております。  
 ※ 米国は上記の他に23店舗が現在リース契約締結交渉中です。（2025年度:5店舗 / 時期未定:18店舗）

# 米国店舗の出店方針と収支状況



※参考: 1マイル = 約1.6Km、1ドル = 140円で計算

【出店方針】	通常店舗	スポッチャ併設店舗	アミューズ小型店舗	フードホール併設店舗
主な施設	ボウリング・アミューズメント・カラオケ・飲食	ボウリング・アミューズメント・カラオケ・飲食・スポッチャ	アミューズメント・飲食	左記3つのモデル店舗に日本食を中心としたフードホール併設
出店候補地	全米の既存大型ショッピングモール内への直営による居抜き出店(出店対象となるモールは全米で約900施設)			カリフォルニア、テキサス、フロリダ、ニューヨーク・ニュージャージーの4エリア
営業面積	1,500坪程度	2,500坪程度	650坪程度	左記3つのモデルに+560坪程度
出店可能エリア	商圏人口:半径5マイル(約8km)・・・15万人以上、半径10マイル(約16km)・・・40万人以上		通常店舗、スポッチャ併設店舗のあるエリアにも出店可能	4エリアのみを対象
対象顧客	ショッピングモールへの来店客(夜間は大学生を中心とした若年層) ※男女比は50%:50%を想定			
売上構成	ボウリング 約10%、アミューズメント 約76%、飲食・パーティー・他 約14%	ボウリング 約7%、アミューズメント 約61%、スポッチャ 約19%、飲食・パーティー・他 約13%	アミューズメント 約90%、飲食 10%	フードホール 約40%、アミューズメント・ボウリング・パーティー他 約60%
投資額	約1,330万ドル(約18億円) 内訳:内装関連・・・約750万ドル、什器備品等・・・約170万ドル、アミューズメント機器・・・約260万ドル、ボウリング機器・・・約80万ドル、開業費等・・・約70万ドル	約1,740万ドル(約24億円) 内訳:内装関連・・・約900万ドル、什器備品等・・・約230万ドル、アミューズメント機器・・・約260万ドル、ボウリング機器・・・約80万ドル、スポッチャ設備・・・約190万ドル、開業費等・・・約80万ドル	約1,110万ドル(約15億円) 内訳:内装関連・・・約650万ドル、什器備品等・・・約150万ドル、アミューズメント機器・・・約260万ドル、開業費等・・・約50万ドル	左記3つのモデルに追加約500万ドル(約7億円) 内訳:内装関連・・・約320万ドル、什器備品等・・・約130万ドル、開業費等・・・約50万ドル
償却期間	内装:10年、ボウリング設備:7年、アミューズ機器:7年、什器備品:5~7年、スポッチャ設備:5年			
出店方針	米国での150~200店舗体制を目標に、上記のモデルを合わせて年間10~20店舗の出店を目指す			

【収支状況】	区分	好調店舗	平均店舗	赤字店舗
年間収支	総売上	1,500万ドル (約21.0億円)	960万ドル (約13.4億円)	540万ドル (約7.6億円)
	IFRS営業利益【初年度】	350万ドル (約4.9億円)	90万ドル (約1.3億円)	△120万ドル (約△1.7億円)
	IFRS営業利益【2年目以降】	490万ドル (約6.9億円)	220万ドル (約3.1億円)	10万ドル (約0.1億円)
	IFRS営業利益率【2年目以降】	32.7%	22.9%	1.9%
	IFRS税前当期純利益【2年目以降】	460万ドル (約6.4億円)	190万ドル (約2.7億円)	△20万ドル (約△0.3億円)
	IFRS税前当期純利益率【2年目以降】	30.7%	19.8%	—

※ 初年度の営業利益は開業費、会計上の工事期間賃料を含みます。

※ 平均店舗は全店舗での平均値となっております。

※ 収支状況と色分けは年1回期末に更新いたします。

# 米国店舗の現況



## 【2025年4月末現在オープン済の57店舗】

オープン時期	店舗名 / 地域	営業面積	SP AM
2010年8月	プエンテヒルズ店 / カリフォルニア州	9,717㎡	●
2012年9月	モレノバレー店 / カリフォルニア州	4,060㎡	
2013年8月	レイクウッド店 / カリフォルニア州	3,976㎡	
2014年12月	アーリントン・パークス店 / テキサス州	5,933㎡	
2015年5月	メインプレイス店 / カリフォルニア州	3,716㎡	
2015年7月	サウスセンター店 / ワシントン州	3,973㎡	
2015年9月	イーストリッジ店 / カリフォルニア州	4,759㎡	
2016年5月	グレイブバインミルズ店 / テキサス州	7,493㎡	
2016年8月	サンバレー店 / カリフォルニア州	4,891㎡	
2016年12月	エクストン店 / ペンシルベニア州	5,423㎡	
2017年1月	サウスウエスト店 / コロラド州	5,811㎡	
2017年3月	フォックスバレー店 / イリノイ州	4,724㎡	
2017年7月	ブロードウェイ店 / ニューヨーク州	5,092㎡	
2017年9月	クリスタルラン店 / ニューヨーク州	4,212㎡	
2017年10月	グレイトレイクスクロッシング店 / ミシガン州	5,488㎡	
2018年1月	フォーシーズンズ店 / ノースカロライナ州	5,649㎡	
2018年3月	グレイトレイクス店 / オハイオ州	4,659㎡	
2018年6月	メイン店 / メイン州	4,025㎡	
2018年6月	コロナドセンター店 / ニューメキシコ州	4,891㎡	
2018年8月	サウスタウンセンター店 / ユタ州	4,645㎡	
2018年9月	ミルクリーク店 / ペンシルベニア州	4,649㎡	
2018年12月	ゲートウェイ店 / ネブラスカ州	4,462㎡	
2018年12月	ノースリバーサイドパーク店 / イリノイ州	4,189㎡	
2019年2月	サウスリッジ店 / ウィスコンシン州	4,191㎡	
2019年3月	ノースリッジ店 / カリフォルニア州	4,789㎡	
2019年3月	ホールヨーク店 / マサチューセッツ州	4,793㎡	
2019年3月	テメキュラプロムナード店 / カリフォルニア州	5,056㎡	
2019年7月	サウスランド店 / カリフォルニア州	4,540㎡	
2019年8月	メドーウッド店 / ネバダ州	3,836㎡	

※『好調店舗(黄色)』と『平均店舗(緑色)』と『赤字店舗(ピンク色)』に色分けしております。

オープン時期	店舗名 / 地域	営業面積	SP AM
2019年10月	パークプレイス店 / アリゾナ州	4,696㎡	
2019年11月	メドーズ店 / ネバダ州	3,948㎡	
2019年11月	フェアフィールドコモンス店 / オハイオ州	4,805㎡	
2019年12月	タウンソントウンセンター店 / メリーランド州	4,907㎡	
2019年12月	ファッションディストリクト店 / ペンシルベニア州	5,396㎡	
2020年2月	バレーリバーセンター店 / オレゴン州	5,653㎡	
2020年3月	パーバンクタウンセンター店 / カリフォルニア州	3,981㎡	
2020年7月	タウンイーストスクエア店 / カンザス州	3,781㎡	
2020年9月	ポトマックミルズ店 / バージニア州	4,583㎡	
2020年10月	デプトフォード店 / ニュージャージー州	4,568㎡	
2021年2月	カンバーランド店 / ジョージア州	7,767㎡	●
2021年3月	パークシティセンター店 / ペンシルベニア州	4,645㎡	●
2021年4月	バンクーバー店 / ワシントン州	4,493㎡	
2021年6月	クエイルスプリングス店 / オクラホマ州	4,020㎡	
2022年6月	ペンブロークレイクス店 / フロリダ州	9,442㎡	●
2022年8月	ローズビル店 / カリフォルニア州	4,164㎡	
2022年8月	サウスヒル店 / ワシントン州	4,834㎡	
2023年3月	ノーススター店 / テキサス州	5,193㎡	
2023年12月	アローヘッド店 / アリゾナ州	7,722㎡	●
2024年3月	ダンベリーフェア店 / コネチカット州	5,703㎡	
2024年4月	ラスベガスサウスアウトレット店 / ネバダ州	2,428㎡	◆
2024年6月	プラザボニータ店 / カリフォルニア州	5,443㎡	
2024年7月	ガーニーミルズ店 / イリノイ州	6,551㎡	
2024年11月	ミッションビエホ店 / カリフォルニア州	1,901㎡	◆
2024年11月	ストーンズタウン店 / カリフォルニア州	4,837㎡	
2025年2月	チャンドラー店 / アリゾナ州	6,081㎡	
2025年2月	ディアブルック店 / テキサス州	2,195㎡	◆
2025年3月	ジャージーガーデズ店 / ニュージャージー州	3,830㎡	

# 店舗の状況



## 出退店・期末店舗数の推移

日本	~2016年 3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 計画
出店数	122	2	1	1	—	—	1	1	1	1	2
退店数	9	8	—	4	2	3	2	1	1	—	1
期末店舗数	113	107	108	105	103	100	99	99	99	100	101

米国	~2016年 3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 計画
出店数	9	6	6	11	9	5	2	4	2	8	10
退店数	—	—	—	—	—	2	—	1	1	1	—
期末店舗数	9	15	21	32	41	44	46	49	50	57	67

中国	~2016年 3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 計画
出店数	—	—	—	—	—	1	2	1	—	—	1
退店数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
期末店舗数	—	—	—	—	—	1	3	4	4	3	4

デリシャス	~2016年 3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 計画
出店数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
退店数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
期末店舗数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3

連結	~2016年 3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 計画
期末総店舗数	122	122	129	137	144	145	149	152	153	160	175

## 日本国内99店舗内訳（2025年4月末現在）

※所有店舗には、土地建物所有の8店舗と借地権付建物所有の13店舗を含んでおります。

形態別				店舗数
スタンダードタイプ		スタジアムタイプ		
繁華街店舗	ロードサイド店舗	繁華街店舗	ロードサイド店舗	99
9	34	1	53	

区分別		店舗数
賃借店舗	所有店舗	
78	21	99

## 国内外エリア別160店舗内訳（2025年4月末現在）

出店エリア	日本								米国	中国	合計
	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	小計			
店舗数	11	3	31	13	23	7	11	99	57	4	160
シェア	6.8%	1.9%	19.5%	8.1%	14.4%	4.4%	6.8%	61.9%	35.6%	2.5%	100%



# サステナビリティおよびSDGsへの取り組み



ラウンドワンでは、経営から独立したサステナビリティ諮問委員会を設置し、各部門の人員で構成される横断的な組織であるサステナビリティ推進チームが各SDGs目標達成に向け、積極的な対応を検討しております。

## ●エネルギー／資源問題への取り組み

### ・LED照明への切替

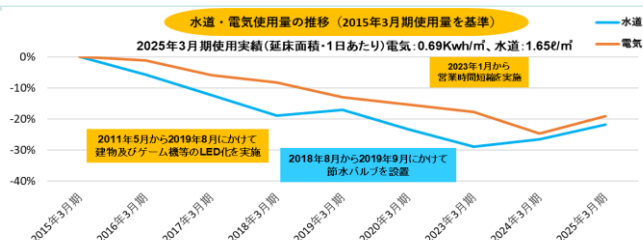
店内照明・ボウリング設備・アミューズメントのクレーンゲーム機等を切替。

### ・節水バルブの設置

カラオケキッチン・フードカウンターに設置。

### ・マテリアルリサイクル(アルバイトユニフォームの再活用)

2022年度より、経年劣化したアルバイトユニフォームをマテリアルリサイクルを通して資源の再活用を行っております。実績は全店で410kgの回収され、車のクッション材に変換されました。次年度もSDGsの観点から同様の活動を継続して参ります。



※2021年3月期と2022年3月期については、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や時短営業等があったため使用量の推移から除いております。



## ●働きやすく働きがいのある職場環境づくりへの取り組み

### ・Make A Chance プロジェクト

2022年7月に発足したプロジェクトチームで、性別に関係なく人材が育つ環境の構築や、全社員が様々なライフイベントに直面しても、キャリアを諦めずに活躍できる企業にするための各種制度の充実や取り組みを推進しております。



## ●その他の取り組み

### ・SDGsリース『みらい2030@』への参加

三井住友ファイナンス&リース株式会社とのリース契約を通して、リース料の一部をSDGs達成に資する公益財団法人またはNPO法人などへ寄付できる取り組み。

2020年3月契約リース及び2021年3月契約リースにて『認定NPO法人キッズドア ※1』へ、2022年8月契約リースにて『認定NPO法人ウォーターエイドジャパン ※2』へ、2024年9月契約リースにて『認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク ※3』への寄付を実施。



- ※1 認定NPO法人キッズドアは、「すべての子どもが夢や希望をもてる社会」を目指し、貧困の連鎖を断ち切る為、小学生から高校生・高校中退した若者まで幅広い層への無料学習会の運営を中心に活動しています。
- ※2 認定NPO法人ウォーターエイドジャパンは、「すべての人がすべての場所で、清潔な水と衛生設備を利用し、衛生習慣を実践できる世界」をビジョンに掲げ、アジア、アフリカ、南米など計22か国で、持続可能で安定的な水の供給及び衛生問題の解決のための仕組みづくりを支援しています。
- ※3 認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークは、難病や慢性疾患、障害のある子どもとその家族を支えるために、医療者や福祉、教育などさまざまな専門家と親による幅広いネットワークを活かした相談・交流・啓発・地域活動を行っています。

その他サステナビリティおよびSDGsへの取り組みに関しましては、下記ホームページをご参照ください。

<https://www.round1-group.co.jp/sustainability/>

2025年3月期実績① (日本基準)



2025年3月期 (2024年4月～2025年3月) 連結実績

(単位: 億円)

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
損益	ボウリング	68.8	73.7	142.5	65.8	85.6	151.4	294.0
	アミューズメント	240.0	275.2	515.2	248.9	297.2	546.2	1,061.4
	カラオケ・飲食	43.1	45.4	88.6	45.4	51.9	97.4	186.0
	スポッチャ	43.3	52.7	96.1	37.4	59.6	97.0	193.1
	その他	8.5	9.1	17.7	8.3	9.6	18.0	35.7
	総売上	403.8	456.4	860.3	406.0	504.2	910.2	1,770.5
	売上原価	340.7	359.9	700.7	357.8	377.6	735.5	1,436.2
	売上総利益	63.1	96.4	159.6	48.1	126.5	174.7	334.3
	販売費及び一般管理費	14.3	15.1	29.5	17.3	17.4	34.7	64.2
	営業利益	48.8	81.2	130.0	30.7	109.1	139.9	270.0
	営業外損益	0.7	△2.6	△1.8	4.9	△0.8	4.0	2.2
	経常利益	49.5	78.6	128.2	35.7	108.2	144.0	272.2
	売上高経常利益率	12.3%	17.2%	14.9%	8.8%	21.5%	15.8%	15.4%
	特別損益※	△0.9	△0.1	△1.0	△0.3	△22.6	△22.9	△24.0
税金等調整前当期純利益	48.6	78.5	127.1	35.4	85.6	121.0	248.2	
法人税等	16.3	23.9	40.2	10.1	37.4	47.5	87.8	
当期純利益	32.2	54.5	86.8	25.2	48.2	73.4	160.3	
減価償却費 (内リース減価償却費)	55.0(26.0)	55.6(26.0)	110.6(52.0)	57.3(26.5)	67.5(26.1)	124.8(52.7)	235.5(104.7)	

※特別損益：△24.0億円 (減損損失 △22.1億円、固定資産除却損等 △1.9億円)

2025年3月期実績②（日本基準）



2025年3月期（2024年4月～2025年3月）国内実績

（単位：億円）

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

								通期
		第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
損益	ポウリング	52.9	57.7	110.7	49.6	66.4	116.1	226.8
	アミューズメント	112.9	138.9	251.8	118.0	136.7	254.7	506.6
	カラオケ	19.4	21.9	41.4	18.8	22.3	41.1	82.6
	スポッチャ	37.9	47.3	85.3	33.2	54.4	87.7	173.0
	その他	8.5	9.1	17.7	8.3	9.6	17.9	35.7
	総売上	231.8	275.2	507.1	228.1	289.6	517.7	1,024.8
	売上原価	203.3	219.3	422.7	210.6	219.6	430.3	853.0
	売上総利益	28.5	55.8	84.3	17.4	70.0	87.4	171.8
	販売費及び一般管理費	5.9	5.9	11.9	5.6	5.5	11.2	23.1
	営業利益	22.5	49.9	72.4	11.7	64.4	76.2	148.6
	営業外損益	0.9	△2.5	△1.5	1.4	△1.5	△0.0	△1.6
	経常利益	23.5	47.3	70.8	13.2	62.9	76.1	147.0
	売上高経常利益率	10.1%	17.2%	14.0%	5.8%	21.7%	14.7%	14.3%
	特別損益※	△0.2	△0.0	△0.2	△0.0	△12.5	△12.6	△12.8
税金等調整前当期純利益	23.2	47.3	70.5	13.1	50.4	63.5	134.1	
法人税等	11.5	17.7	29.3	7.3	25.1	32.4	61.7	
当期純利益	11.6	29.5	41.2	5.8	25.3	31.1	72.3	
減価償却費（内リース減価償却費）		30.2(25.2)	30.1(25.2)	60.4(50.5)	30.7(25.8)	39.7(25.2)	70.5(51.1)	130.9(101.6)

※特別損益：△12.8億円（減損損失 △12.0億円、固定資産除却損等 △0.8億円）

# 〈補足資料〉

## 2025年3月期実績③ (日本基準)



2025年3月期 (2024年4月～2025年3月) 米国実績 1ドル=152.62円換算

(単位:億円)

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
損益	ボウリング	15.5	15.7	31.3	15.9	18.9	34.9	66.3
	アミューズメント	124.2	133.1	257.3	128.9	158.2	287.1	544.5
	飲食・パーティー等	23.4	23.3	46.8	26.5	29.4	56.0	102.8
	スポッチャ	4.5	4.3	8.9	3.6	4.7	8.4	17.3
	総売上	167.8	176.5	344.4	175.1	211.4	386.5	731.0
	売上原価	132.9	136.2	269.2	143.3	154.1	297.5	566.8
	売上総利益	34.8	40.2	75.1	31.8	57.2	89.0	164.2
	販売費及び一般管理費	6.5	5.9	12.5	7.2	7.6	14.9	27.4
	営業利益	28.3	34.3	62.6	24.5	49.5	74.1	136.7
	営業外損益	△0.2	△0.1	△0.4	0.6	△0.3	0.3	△0.1
	経常利益	28.0	34.1	62.2	25.1	49.2	74.4	136.6
	売上高経常利益率	16.7%	19.3%	18.1%	14.4%	23.3%	19.3%	18.7%
	特別損益※	△0.6	△0.1	△0.8	△0.2	△0.0	△0.3	△1.1
	税金等調整前当期純利益	27.4	34.0	61.4	24.9	49.1	74.0	135.5
法人税等	4.8	6.5	11.4	4.1	9.9	14.1	25.5	
当期純利益	22.5	27.4	50.0	20.7	39.2	59.9	109.9	

減価償却費 (内リース減価償却費)	23.4(0.4)	24.1(0.3)	47.5(0.7)	25.2(0.3)	26.4(0.3)	51.7(0.7)	99.3(1.5)
-------------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

※特別損益：△1.1億円 (固定資産除却損 △1.1億円)

2026年3月期(2025年4月～2026年3月)連結計画

(単位:億円)

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

								通期計画
		第1四半期計画	第2四半期計画	上期計画	第3四半期計画	第4四半期計画	下期計画	
損 益	ボウリング	70.1	76.5	146.7	68.0	89.7	157.7	304.4
	アミューズメント	256.9	291.5	548.4	269.4	331.9	601.3	1,149.7
	カラオケ・飲食	44.9	48.7	93.6	45.9	74.4	120.4	214.1
	スポッチャ	45.0	53.7	98.7	40.8	64.9	105.7	204.5
	その他	8.7	9.5	18.3	11.8	28.4	40.3	58.6
	総売上	425.8	480.1	905.9	436.1	589.4	1,025.6	1,931.6
	売上原価	344.3	378.4	722.7	376.9	449.6	826.6	1,549.3
	売上総利益	81.4	101.7	183.2	59.2	139.8	199.0	382.2
	販売費及び一般管理費	14.9	14.2	29.2	15.6	20.7	36.4	65.7
	その他の営業損益	△0.6	△0.6	△1.3	△0.6	△2.2	△2.9	△4.2
	営業利益	65.8	86.7	152.5	42.9	116.7	159.6	312.2
	売上高営業利益率	15.5%	18.1%	16.8%	9.8%	19.8%	15.6%	16.2%
	金融損益	△8.5	△10.1	△18.6	△10.6	△10.6	△21.2	△39.9
	税金等調整前当期純利益	57.3	76.6	133.9	32.2	106.1	138.3	272.3
法人税等	16.7	24.0	40.8	9.6	37.3	46.9	87.8	
当期純利益	40.5	52.5	93.0	22.6	68.7	91.4	184.5	
減価償却費(内リース減価償却費)		102.2(73.0)	104.2(74.8)	206.4(147.9)	106.9(75.2)	112.4(74.9)	219.3(150.2)	424.5(296.9)

2026年3月期計画② (IFRS)



2026年3月期(2025年4月～2026年3月)国内計画

(単位:億円)

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

								通期計画
		第1四半期計画	第2四半期計画	上期計画	第3四半期計画	第4四半期計画	下期計画	
損益	ボウリング	53.9	59.5	113.5	51.2	68.2	119.4	233.0
	アミューズメント	117.6	144.2	261.9	122.8	141.7	264.6	526.6
	カラオケ	20.3	22.9	43.2	19.6	23.1	42.7	85.9
	スポッチャ	40.3	48.9	89.3	35.1	56.6	91.7	181.0
	その他	8.7	9.5	18.3	8.7	10.0	18.7	37.0
	総売上	241.0	285.2	526.2	237.6	299.8	537.4	1,063.7
	売上原価	204.3	218.2	422.6	208.6	219.5	428.1	850.8
	売上総利益	36.7	66.9	103.6	29.0	80.3	109.3	212.9
	販売費及び一般管理費	5.3	5.5	10.8	6.1	11.0	17.2	28.0
	その他の営業損益	△0.3	△0.3	△0.7	△0.3	△1.9	△2.3	△3.1
	営業利益	31.0	61.0	92.0	22.5	67.2	89.7	※ 181.8
	売上高営業利益率	12.9%	21.4%	17.5%	9.5%	22.4%	16.7%	17.1%
	金融損益	△1.8	△1.6	△3.4	△1.6	△1.6	△3.2	△6.7
	税金等調整前当期純利益	29.2	59.4	88.6	20.9	65.5	86.5	175.1
法人税等	10.9	21.0	32.0	7.5	29.1	36.7	68.7	
当期純利益	18.2	38.3	56.5	13.3	36.4	49.7	106.3	
減価償却費(内リース減価償却費)		64.4(59.4)	64.1(58.9)	128.6(118.4)	64.0(58.4)	63.8(57.7)	127.8(116.1)	256.4(234.6)

※ 支払ロイヤリティ41.5億円を含めない営業利益を記載しております。ロイヤリティを含めた場合の通期営業利益は、223.4億円となります。

2026年3月期(2025年4月～2026年3月)米国計画 計画1ドル=140.00円換算

(単位:億円)

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

								通期計画
		第1四半期計画	第2四半期計画	上期計画	第3四半期計画	第4四半期計画	下期計画	
損益	ボウリング	16.0	16.7	32.8	16.6	21.3	38.0	70.8
	アミューズメント	136.5	143.3	279.8	143.9	187.1	331.1	610.9
	飲食・パーティー等	24.5	25.7	50.2	26.2	51.1	77.4	127.7
	スポッチャ	4.2	4.3	8.5	5.4	7.9	13.4	21.9
	総売上	181.3	190.1	371.4	192.3	267.6	460.0	831.5
	売上原価	134.3	152.5	286.9	157.7	208.0	365.7	652.7
	売上総利益	46.9	37.6	84.5	34.5	59.6	94.2	178.7
	販売費及び一般管理費	8.0	7.1	15.1	7.6	8.0	15.6	30.8
	その他の営業損益	△0.2	△0.2	△0.5	△0.2	△0.2	△0.5	△1.1
	営業利益	38.6	30.1	68.7	26.6	51.3	78.0	※ 146.8
	売上高営業利益率	21.3%	15.9%	18.5%	13.9%	19.2%	17.0%	17.7%
	金融損益	△6.6	△7.7	△14.3	△8.0	△7.8	△15.8	△30.2
	税金等調整前当期純利益	32.0	22.4	54.4	18.6	43.5	62.1	116.5
法人税等	5.8	3.0	8.8	2.0	8.2	10.2	19.0	
当期純利益	26.2	19.3	45.5	16.6	35.3	51.9	97.5	
減価償却費(内リース減価償却費)		37.6(13.5)	38.9(14.8)	76.6(28.3)	41.3(15.5)	46.3(15.5)	87.6(31.0)	164.3(59.4)

※ 支払ロイヤリティ 41.5億円を含めない営業利益を記載しております。ロイヤリティを含めた場合の通期営業利益は、105.2億円となります。

# IFRS適用による主な影響(BS)

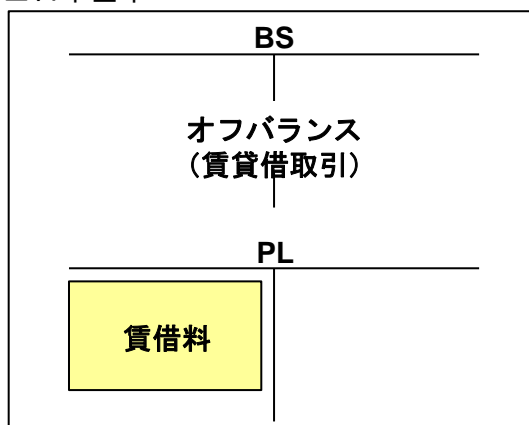
▶IFRSを適用したことによる2023年4月1日移行日時点のBSへの影響について、現時点で想定される主な内容は以下の通りです。

項目		おおよその影響額	主な要因
資産	固定資産	△約90億円	(日本)耐用年数変更の遡及処理による減少 (日本)減損損失判定フローの変更による影響 等
	使用権資産	+約640億円	(日本)IFRS16号適用による影響 ※ 等
	繰延税金資産	+約80億円	(日本)評価性引当の振替 (日本・米国)IFRS適用に伴う税効果調整 等
負債	リース負債	+約640億円	(日本)IFRS16号適用による影響 ※ 等

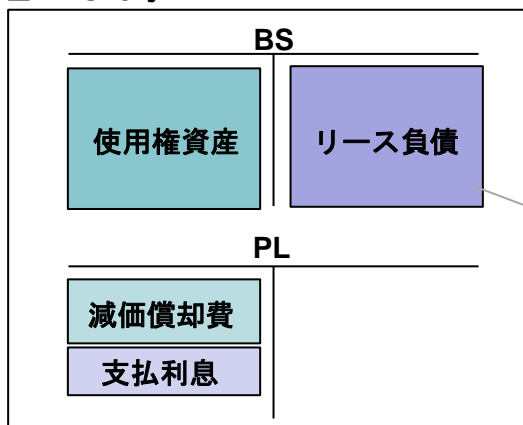
上記は確定前の未監査情報であり、後日公表する情報と異なる可能性があります。

※ IFRS16号適用による影響について

■日本基準



■IFRS16号



IFRS16号適用によりオペレーティングリースはオンバランス処理となり、資産と負債が大幅に増加いたします。なお、これまで日本基準にて発生していた賃借料は、IFRSでは減価償却費・リース支払利息としてPL計上されます。

※IFRS16号適用による影響についての詳細は、P.32をご参照ください。



# IFRS適用による主な影響(PL)①

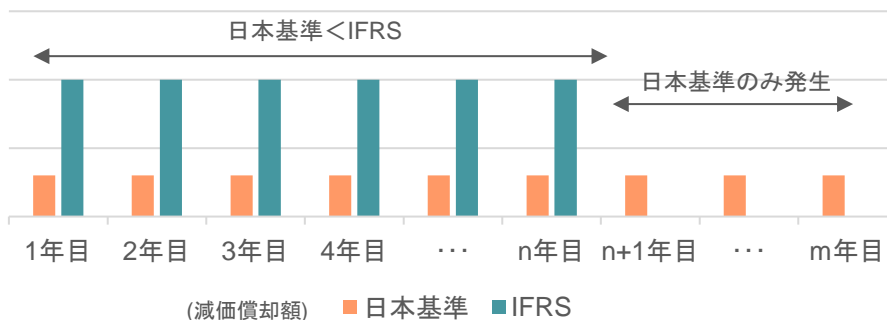
▶IFRSを適用したことによるPLへの影響について、現時点で想定される主な内容は以下の通りです。

日本基準との会計処理の乖離	影響箇所	内容
固定資産の耐用年数及び償却方法等の変更	売上原価 販売費及び一般管理費	(日本)出店もしくは大型設備投資を行った場合は、日本基準との乖離が大きくなる可能性有り ※1
IFRS16号の適用	売上原価 販売費及び一般管理費 金融費用	(日本・米国)オペレーティングリースをオンバランス処理することにより計上されるリース支払利息は金融費用のため、営業利益増加の影響 ※2 等
減損損失判定フローの変更	売上原価 その他の営業費用	(日本)減損損失判定フローの厳格化による減損損失の増加と減価償却費の減少 等

## ※1 固定資産の耐用年数及び償却方法の変更による影響について

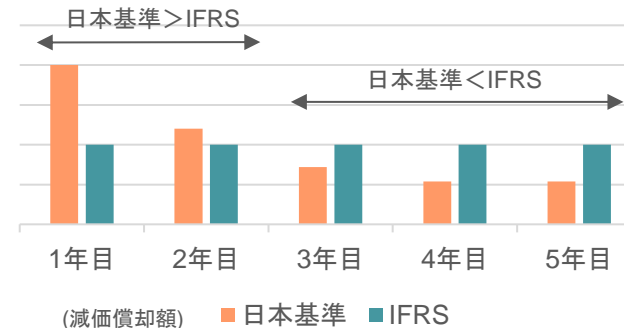
### 1.耐用年数の短縮による減価償却費への影響イメージ

償却方法：日本基準、IFRSともに定額法  
耐用年数：日本基準 m年、IFRS n年の場合



### 2.償却方法の変更による減価償却費への影響イメージ

償却方法：日本基準は定率法、IFRSは定額法  
耐用年数：日本基準、IFRSともに5年の場合



## IFRS適用による主な影響(PL)②

### ※2 IFRS16号を適用したことによるPL影響について

#### 《オペレーティングリース（賃貸借取引）について》

当社グループでは、主に店舗の賃借料がオペレーティングリースに該当します。

IFRS16号を適用することで、「使用権資産」および「リース負債」が計上され、それに伴い発生する「減価償却費」は売上原価、「リース支払利息」は金融費用として計上します。

なお、IFRS16号では、オープン前の工事期間（概ね6ヶ月）を含んだ期間で費用計上を行っております。

※ファイナンスリースについては、「リース資産」は「使用権資産」となりますが、これまでのPL処理から変更はございません。

#### 1. 【日本】

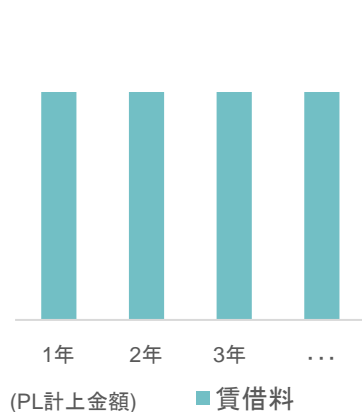
##### 《日本におけるオペレーティングリースについて》

従来の日本のリース会計基準では、オペレーティングリースはオフバランスとし、PL処理については「賃借料」として、売上原価へ計上しておりました。

なお、日本基準においては実際に賃料の発生するオープン時点より費用計上を行っております。

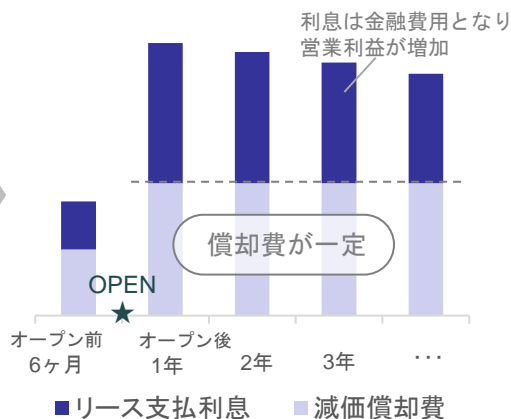
(日本基準適用時イメージ)

実際に支払った賃借料で計上



(IFRS適用後イメージ)

リース初期の費用負担が大きい



#### 2. 【米国】

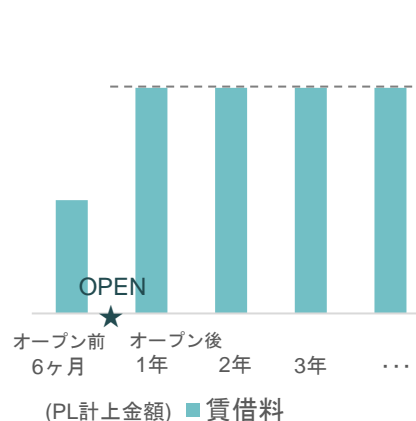
##### 《米国における従来のオペレーティングリースについて》

従来のリース会計基準であるASC842では、「使用権資産」および「リース負債」を計上しPL処理については「賃借料（リース費用）」として、売上原価へ計上しておりました。

なお、ASC842においても、IFRS16号と同様にオープン前の工事期間（概ね6ヶ月）を含み費用計上を行っております。

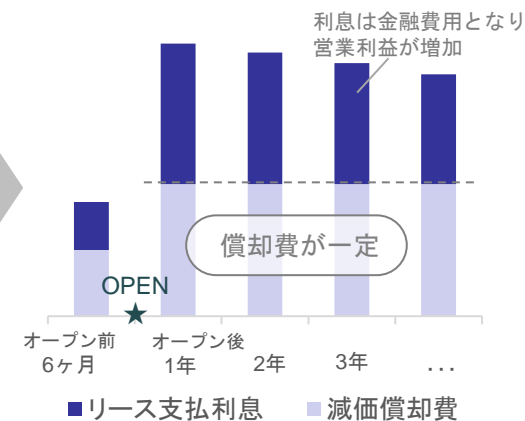
(ASC842適用時イメージ)

賃借料(リース費用)が一定



(IFRS適用後イメージ)

リース初期の費用負担が大きい



# 各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



## 本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません(万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます)。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

## IR方針(サイレンス期間)について

当社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表(四半期決算を含む)の約4週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

## ホームページへのアクセス先

<https://www.round1-group.co.jp/> もしくは

IRお問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 TEL 06(6647)6600 / 平日 10:00~19:00